

# 私たちの多彩なワークスタイル

## 行政事務

商工労働部  
雇用労政課 課長

平成7年度採用



## これまでのキャリアパス

| 配属年 | 地域 | 職名  | 所属・エピソード   |
|-----|----|---|--|
| H7  | 会津 | 主事  | <b>会津社会福祉事務所福祉課</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村が実施するホームヘルパーなどの老人在宅福祉サービスの補助金審査業務等を担当</li> <li>初めての土地・会津で右も左もわからない中、同僚や上司、市町村職員の皆さんに仕事の仕方を一から教えていただきました。当時を一緒に過ごした皆さんとは20数年経った今でもつながりがあります。</li> </ul>   |
| H10 |    | <b>喜多方建設事務所行政課</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>県管理道路への水道管理設や電柱設置などの占有、宅地造成などの開発の許認可業務を担当</li> <li>許認可業務は根拠法をしっかりと読み込み、理解する必要があるため、法学部出身ではない私にとっては、「苦行」でした。県民の方と比較的近い距離での仕事でしたが、時には厳しい言葉をいただくこともあり、くじけそうになったことが何度もありました。</li> </ul> |  |
| H12 | 県庁 | 副主査   | <b>農林水産部水田農業振興課</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>米の生産調整（田んぼで米以外の作物を作る）に関する計画の進行管理や関連する補助金の交付業務等を担当</li> <li>第1子・第2子を出産し、二度の産休・育休を取得。同じ職場で2回育休をとることに不安はありましたが、職場の皆さんの理解もあり、職場復帰はスムーズでした。また、国の米の生産調整に関する方針見直しを検討する研究会委員だった上司に随行し、見直しの議論を傍聴するなど貴重な体験をしました。</li> </ul>             |
| H18 |    | 主査  | <b>企画調整部情報統計領域統計企画グループ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>統計調査の広報業務、統計調査員の研修・表彰、統計書作成、統計分析業務を担当</li> <li>統計調査に協力していただくための広報業務は職員同士アイデアを出し合いながら企画していきました。雑談での何気ない一言が事業化することもあり、面白い仕事でした。また、統計データから経済動向等を分析する仕事は一つの事象の原因をいろんな角度から探っていく必要があります、その後のものの見方や仕事に仕方にも生かしています。</li> </ul> |
| H23 | 県北 | 主任主査  | <b>公益財団法人ふくしま自治研修センター派遣</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>県職員や県内市町村職員の研修の企画運営業務を担当</li> <li>研修内容の企画や使用するテキストの作成、また自ら研修講師も務めました。当時研修生だった皆さんとは仕事で再会することも多く、その成長をうれしく感じることもあります。自治研修センターは震災直後、避難所となっていたため、避難所運営業務も経験しました。</li> </ul>   |

| 配属年 | 地域 | 職名      | 所属・エピソード  |
|-----|----|---------|---|
| H26 | 県庁 | 副課長     | <b>人事委員会事務局採用給与課</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員採用業務、職員給与に関する業務を担当</li> <li>第3子を出産し育休取得。主任主査として長期間休むことに不安や申し訳なさがありましたが、職場は温かく送り出し、迎え入れてくれました。採用試験の受験者確保のため、説明会などの広報活動や採用試験制度の見直しを行いました。その経験は現在の業務である県内企業の人材確保にもつながっています。</li> </ul>                       |
| H31 |    | 主幹兼課長補佐 | <b>議会事務局総務課</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>県議会議員や議会事務局職員に関する事務や議会の円滑な運営業務などを総括</li> <li>県の業務を議会という「外側」の視点から俯瞰して見ることができました。予算や条例が議決されるまでの流れなど、改めて認識することができました。また、議会へのICT導入や議場などの改修を検討したり、コロナ禍で感染対策をしっかりと取りつつ、いかに議会を機能させていくかを検討したり、前例のない仕事が多かったです。</li> </ul> |
| R4  |    | 課長      | <b>商工労働部雇用労政課</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>女性活躍や働き方改革などの労働施策、産業人材の確保、雇用対策業務を総括</li> <li>初めての商工労働部ですが、担当業務は女性活躍や働き方改革などの労働施策から、県内の産業人材確保や、多様な人材の雇用対策まで多岐にわたり、また、注目度の高いものが多いため、業務の全体像を理解するまで非常に苦労しました。</li> </ul>   |

## 育児と仕事の両立について

誰でも平等に1日は24時間しかないので、その24時間を育児と仕事にどう割り振ればよいかを常に考えています。そのうえで、24時間に入らなかった分は、「誰か(何か)に頼る」「手を抜く」「明日にする」で何とかします。また、仕事の心配事は家庭に持ち込まず、家庭の心配事は職場に持ち込まず、気持ちの上でもオンオフを完全に切り替えてリフレッシュしています。



## 「福島県職員」の魅力・やりがい

一人でできることは少ないけれど、みんなで知恵を出し合って企画し、形作ったものを県・市町村、そして地域の皆さんと協力して動かし、地域を変えていける、未来を作っていける、たくさんの笑顔を生み出すことができる、とてもやりがいのある仕事です。県民の皆さんの笑顔や「ありがとう」の言葉が原動力になります。



## 受験者へメッセージ

震災・原発事故からの復興に取り組む福島県には、「前例のない」業務があり、一職員のアイデアが形になるチャンスが転がっています。目の前の仕事の向こう側にいる誰かに思いを馳せながら働くことができる「福島をより良くしたい！」という熱い思いをお持ちの方、心からお待ちしています！

(令和6年3月現在)